

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医のカルテ



⑬



後坊動物病院長
(砺波市平和町)
後坊立

動物病院に行くたびに、大切なペットの肥満を指摘されることはありませんか？ 行くと獣医さんに叱られるので、だんだん行かなくなるのは悪循環。ここは思い切って、愛犬のダイエットを始めてはいかがでしょうか。

ポイントを5項目に分けてアドバイスします。

①家族みんなで目標達成

どこの家庭にも一人は甘やかす人がいるもの。食卓の足元で美味いものをもらうのが癖になっているならその人が何より改心する必要があります。家族全員で協力してこそ成功につながります。

ペットの肥満対策



過度の肥満により、後ろ足が立ちにくくなった犬

目標決め食事管理

②具体的な目標の設定

無理な設定が長続きしないのはペットも同じ。少しずつ、体重の減少を目指しましょう。グラフを作り、目で見て成果を確認するのも効果があります。体調に無理がかかった急激な体重の減少にも気付きやすくなります。

③定期的な体重測定

人と同じ、定期的な体重測定は不可避です。自宅の体重計で抱っこして量るのも有効ですが、動物病院で正確な数値を測定するのもお勧めです。

④おやつは我慢

どのワンコもおやつが大好きです。それはどうしてか、と一度

考えてみてください。人にとっても、おいしいものはダイエットの大敵です。どうしても欲しそうだったら、いつものフードを少しだけ与えましょう

⑤まずは食事の管理

一日にどれだけの量を食べているか把握していますか。フードはきちんとカップで測り、適切な量だけを与えましょう。餌を継ぎ足すのはよくありません。また

人の食べ物味の濃いものが多い、カロリー計算がしにくいので、犬用フードを与えましょう。

減量を目的とした専用フードも多数ありますが、それ以外に何かを与えては効果が弱まります。また、低カロリー食でも過量に摂食してはいけません。

まずは動物病院で適切な体重の設定、減量方法の相談をされてはいかがでしょうか。